

国語科（6学年）シラバス

1. 教科の目標

目的や意図に応じ、考えた事や伝えたい事などを目的に話すことや相手の意図をつかみながら聞くことができるようにするとともに、計画的に話し合おうとする態度を育てる。
 目的や意図に応じ、考えた事などを筋道を立てて文章に書くことができるようにするとともに効果的に表現しようとする態度を育てる。
 目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。

2. 到達目標

観点	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
目標	国語に対する関心を持ち、計画的に話し合ったり、適切に書いたり、幅広く読書したりしようとする。	目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどを的確に話したり、相手の意図を考えながら聞いたりする。	目的や意図に応じ、考えたことなどを筋道を立てて文章を書く。	目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読む。	音声、文字、語句、文や文章、言葉遣いなどの国語についての基礎的な事項について理解している。文字の大きさ、形、点画の筆使い、字配りなどを理解し正しく書く。

3. 年間指導計画

月	学習内容	学習のねらい
4	風切るつばさ／野のまつり／五月／雪 漢字辞典を利用しよう 書写 毛筆の姿勢、学習の進め方	・表現の良さを味わったり情景や心情を想像したりしながら、音読の工夫をする。 ・漢字辞典の仕組みと三種類の索引について理解する。 ・正しい毛筆の姿勢、筆の持ち方ができる。
5	伝え合おう、わたしの意見 依頼の手紙を書こう ことわざや昔の言い方に興味を持とう 書写 字形	・自分の考えや意図が伝わる工夫をして話す。 ・依頼の理由や内容を整理して、目的や意図に応じて効果的に依頼の手紙を書く。 ・ことわざや昔の言い方に興味を持ち、表現の効果を知る。 ・字形や組み立て方に気をつけて書く。
6	イースター島にはなぜ森林がないのか 気持ちのよい話し方をしよう 日本の文字に関心を持とう 書写 筆順と字形	・文章の構成や話題の取り上げ方に注意して、書かれていることを読み取る。 ・相手や伝える内容に気を配り、その場に応じた言葉づかいを考えて会話をする。 ・平仮名と片仮名の由来と特色を理解し、日本語の表記について知る。 ・画の長さや画の接し方に気をつけて書く。
7	ヒロシマのうた しょうかい文を書こう 書写 筆使いと字配り	・時間の流れに注意して物語の流れをとらえ、最も強く語りかけてきたことを自分の言葉でまとめる。 ・目的や意図に応じて文章の詳しさを変え、効果的に書く。 ・平仮名の筆使いと行の中心に気をつけて書く。
9	ニュース番組を作ろう 書写 行の中心	・ニュース番組の構成を考え、役割に応じた話し方を工夫して話したり、話し手の意図を正確にとらえたりする。 ・行の中心に気をつけて書く。
10	宮沢賢治 感動をリズムにのせて 書写 字配り	・宮沢賢治の生涯について読み取るとともに、作家と作品のかかわりについて自分の考えをまとめて紹介し合う。 ・言葉のリズムを生かし、表現を工夫して俳句を作る。 ・字間、行間、余白の取り方に気をつけて書く。
11	言葉の意味を追って 書写 字配り	・文章の構成に注意して書かれていることを読み取る。 ・字間、行間、余白の取り方に気をつけて書く。
12	「わたしの意見」を書こう 文末の言い方に目を向けよう	・日ごろの生活の言葉を見直して問題点を見つけ、書く事柄を整理し効果的な組み立てで文章を書く。 ・文末表現には話し手の判断や物事のとりえ方が表れていることを理解する。
1	書写 書き初め 百年前の未来予測 言葉の広場 書写 書き初め	・履修事項を生かして書く。 ・文章の内容から筆者の考えを読み取り、「未来」についての自分の考えを明確にする。 ・「言葉の広場」で語彙の拡充を図る。 ・履修事項を生かして書く。
2	海のいのち 熟語の構成について考えよう 書写 まとめ	・人物の生き方を考えながら物語を読み、最も強く語りかけてきたことを紹介し合う。 ・三字以上の熟語の構成を理解する。 ・字配りよく書く。
3	「未来へのメッセージ」を書こう 書写 まとめ	・今までに学習した表現方法を生かして思い出や将来への願いをまとめることで、主体的に学習する力を身につける。 ・字配りよく書く。

4. 評価の観点・方法

・次のような方法で評価します。
 朗読の観察 テスト ワークシートの内容 発言メモ 発表の内容 ノートの記録 感想文 構想メモ スピーチ
 情報収集の様子を観察 作品の内容

5. 保護者の皆様へ

音読練習、漢字練習などを基礎学力の定着のために家庭学習で行う場合があります。その際にご協力をお願い致します。また、日常生活の中、場に応じた言葉遣いや読書の習慣なども国語力をつけることと大きく関係しています。機会をとらえて教えていただくと幸いです。